

最新AI技術など紹介

釧路 13日にデジタルEXPO

釧路地域DX推進協会（中島秀幸会長）が主催する「くしろデジタルEXPO2026」が13日午前10時から、コーチャシフォー釧路文化ホールで開かれる。デジタル技術を活用した業務効率化事例や最新のAI（人工知能）技術などに触れることができるイベントとなっており、同協会は積極的な来場を呼び掛けている。

IT企業をはじめ、釧路管内のサンエス・マネジメント・システムスやポータス、エイチ・シー・シー、マルエイ六峰社など合計30の企業・団体がブースを出展する。展示内容は、オフィス業務を効率化するソフトウェア、デジタルサイネージなどの最新ハードウェア、セキュリティに関する顔認証エッジデバイスなど多彩。特に生成AIに関する展示が充実しており、急激に進化する

AIを業務でどう活用するかのヒントを得ることができる。このほか、講演会も予定しておりノーステック財団の黒澤辰憲氏（午前11時）、北海道大学名誉教授の山本強氏（午後1時10分）、日本マイクロソフトの遊佐隆器氏（同2時10分）らが、デジタルトランスフォーメーション（DX）や生成AIなどをテーマに講演する。中島会長は「釧路にしながら最新技術を体験で

きる機会。特にAIの可能性を実感できるので、気軽に足を運んでいただきたい」と話している。入場無料、会場は午後5時まで。アンケートに

協力してくれた来場者には記念品も用意している。問い合わせは電子メール「staff@ksrit.net」へ。（須貝喜治）



ポスターを手に来場を呼び掛ける主催者メンバー